

## 会議録

会議の名称	平成16年度第2回(仮称)西東京市リサイクルプラザ市民懇談会
開催日時	平成16年5月7日午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	保谷庁舎2階 第1会議室
出席者	中島光雄座長、加藤真子副座長、一方井寿子、大森とみ、北村律子 鈴木春枝、篠原明美、徳田説子 各委員 (事務局) 小川環境防災部参与、河原ごみ減量推進課長、桜井環境保全課長補佐 高橋ごみ減量推進課主査
議題	(1)第1回会議録の確認について (2)(仮称)西東京市リサイクルプラザの事業及び施設内容について (3)その他
会議資料の名称	
記録方法	会議内容の要点記録
会議内容	
<p>座長：</p> <p>議題(1)の第1回会議録の確認については読んでいただき、何かある場合は事務局に連絡してください。</p> <p>議題(2)(仮称)西東京市リサイクルプラザの事業及び施設内容について事務局から説明してください。</p> <p>事務局：</p> <p>先にお渡ししてあります資料16についてご説明いたします。1階の基本的な考え方としまして、ごみ減量推進課事務室は70平方メートル、多目的ルームは200平方メートル、家具展示スペースは200平方メートルとして算出しました。</p> <p>ごみ減量推進課事務室は、当初100平方メートル程度を予定していましたが、市民利用部分を少しでも多くとの考えで、既存事務所が約72平方メートルであり課内調整の結果70平方メートルとした。また、位置的な面については、市民受付業務対応、パッカー車駐車場対応、2階現業職員対応を考慮した。</p> <p>多目的ルームは、小学校の学年単位を3クラス合同で対応することを想定し、200平方メートルとしている。(教室の標準は8m×8平方メートルで約64平方メートル、64×3=192平方メートル) 参考までに申しますと視察しました多摩ニュータウンは三部屋合わせて202平方メートルです。</p>	

家具展示スペースは、既存施設の建物が修理部分を含めて約232平方メートルであることから200平方メートルとした。(多摩ニュータウンは136平方メートル)

その他の情報連絡室、幼児コーナー、スタッフコーナーについては、レイアウトの位置により多少異なる。

資料18をご覧ください。小平の東京都建築指導事務所に調整しに行ってきた。調整の1点目として、1階の庇は1m以内であれば建築面積には入らないが、1mを超えて柱構造のものは建築面積に入る、とのことで庇は難しいと思う。実施設計の中で委員の提案された張り出し的なものが出来るか検討したい。また、生ごみ処理機の安全の確保が必要と言われ三角地域に屋根つきで移してみた。多目的ホールとの連絡が良くないと事業にならないと想定し生ごみ処理機にすぐ行けるようドアを設け、職員駐輪場は西側に移動した。

各部屋の配置ですが、

1案...家具展示場を南側に配置し、スタッフルームを家具展示スペースの所に置いた。情報連絡室は奥に配置した。多目的ルームは生ごみ処理設備との関連で外に出られるよう計画道路側角に優先した。ホールから多目的ルームまで廊下を設け、区切ることにより他の部屋と分離できるようにし、火災等の避難用に設けた。

2案...南側に幼児コーナーと情報連絡室を集中してみた。家具展示場は奥に持ってきた。ごみ減量推進課と多目的ルームの設置場所画が固定されると、このようになると思われる。

3案...2案と同じように家具展示場を奥に持っていき、南側の幼児コーナーと情報連絡室の図書コーナーを入れ替えてみた。

資料18ですが、ソーラーシステムを2階屋上に設置してみた。屋上緑化はフェンスを付け外階段で上れるようにして見た。また、百葉箱等が置けるよう環境観測スペースを考えてみた。

座長：

案が三つ出されましたが、いかがですか。

委員：

庇の所に自動車があるが、歩行者はどこを通るのか。

事務局：

歩道に沿って上がるようになっていて。道路と80cmほど高低差があり、車椅子でも上がれるようスロープになっている。

委員：

他市の場合、身障者の利用度はどのくらいか。

事務局：

ユニバーサルデザインと申しまして、子どもからお年寄り、障害をお持ちの方までの安全性を考慮した施設を考えている。

委員：

幼児コーナーは壁に覆われているのか。

事務局：

壁でもガラス張りでもかまわない。

委員：

動きが見えるということで、多目的ルームを情報連絡室の所に持っていったらどう

か。インターネット等は緑に囲まれた所が良いかなという気がした。

座長：

面積的には出来ますね。

事務局：

生ごみ処理機を持ってきた為に多目的ルームと連携がないといけないということで、配置してみた。

委員：

生ごみ処理機はメインなので道路側で見えるところでよい。

委員：

どのくらいの規模の処理機が入るのか分からないが、他の設置したところを見たことがあり、少し臭いがすると思いますが。

事務局：

公団のグリーンプラザは7台あり若干においですが、リサイクルプラザでは1台設置する予定なのでそれほど臭わないと思うが、玄関口より建物の横の緑がある所に配置してみた。40世帯から100世帯くらいの規模を考えている。

委員：

大規模なものを入れても利用する人がいるのか分からない。

委員：

生ごみ処理を地域の皆さんとやっていたことがあるが、各ブロック10世帯を1班として、10世帯から20世帯くらいで使えるようなものであれば使う人の顔も分かり、私たちの生活に会っているような気がする。

事務局：

小さいものを2台入れるということも出来る。

委員：

生ごみ処理機が今稼働していることを外に表示し、伝えるようにしたほうが良いような気がする。

委員：

バスが頻繁に行き来するのでバスの乗客に発信できるようなことを考えれば、ここに来る人だけでなくほかの人にも効果があるような気がする。

事務局：

バスから見やすい背景にするとか、出来ると思う。

座長：

生ごみ処理機は中くらいのほうが良い、ということなので検討してください。多目的ルームを情報連絡室のところにとのご意見はいかがですか。たとえば、多目的ルームで120人くらいのイベントがある場合、間取りとしてはこちらが使いやすい。場合によっては3室に区切ることもあり、その場合は使いにくいかなとも思う。

委員：

情報連絡室のビデオコーナー・インターネットコーナー等は若い人や子どもたちが中心になるのではないかと思える。家具展示コーナーは、シルバー人材センターが中心にやるとしても販売だけで、シルバーの人が何かをしたい場合のコーナーがない。シルバーの方のコーナーを情報連絡室のどこかにほしいと思うがいかがでしょう。インターネットコーナーが常時満席でふさがるとも思えないのですが。

座長：

シルバーの方の活動は、多目的ルームを使って出来ないでしょうか。

委員：

エントランスホールに椅子などを置いて、ふれあいというかちょっと話し合いが出来るラウンジ風にあると良いと思う。

事務局：

多摩六都ではインターネットを使う方は高齢者が多い。ここでもインターネットをする方は、低学年の子どもか高齢者が勉強用に使用すると思う。ビデオコーナーはたしかに子どもが多いと思う。

座長：

整理します。家具展示スペースを前にするか後ろにするかで2つの案になると思いますが、決めたいと思います。

委員：

家具スペースは奥が良い。一般市民がこれだけを目的に来るのではないと思う。

委員：

ショーウィンドーにして家具を見せたいとも思う。

委員：

家具を南面に置くと痛むということがある。

座長：

インターネット・ビデオなどは静かな所が良いかなと思います。

委員：

リサイクルプラザというのであれば、配置の優先順位があるのではないのでしょうか。

委員：

家具展示スペースにインターネットがあるとよい。在庫など情報が取れるほうが良い。

事務局：

シルバー人材センターとはまだ何も話はしていませんので、入るときにお伝えします。

委員：

家具の搬入口はどちらですか。

事務局：

家具展示スペースの裏になります。

委員：

廊下の幅は何メートルになりますか。

事務局：

120 c m位になると思います。

委員：

建物の外壁などにガラスなどは使えるのですか。アメニティーを考え、外からの見え方も重要かなと思う。

事務局：

実施設計の段階でないと分かりませんが、付け加えていきたいと考えます。

委員：

実施設計に入り設計士に頼む段階ではコンセプトの数とか入って変更は利かなくなるわけですね。

事務局：

そうです。部屋の位置関係は決めていただきたい。

座長：

多目的ルームを1案の家具展示スペースに持ってくるのもよいと思っています。

委員：

シルバーのリサイクルショップは何時までやっていますか。

事務局：

午前10時から午後4時です。

委員：

会館の時間はどのように決めるのですか。

事務局：

基本は条例で決めますが、規則で細かく決めるようになります。

座長：

どの案が良いか一人ずつ上げていただきたい。

委員：

3案が良いと思う。

委員：

3案が良い。正面に家具展示はきついかと思う。

委員：

1案がよいと思う。パソコンや図書は奥が良いと思う。

委員：

3案かなと思う。家具は奥が良いと思っている。

委員：

1案です。家具は見せたいと思っている。

委員：

1案かなと思っている。建物を建てる時のコンセプトがあって、それが分かる建物でないとコミュニティーセンターと変わらなくなる。市議会議員さんがリサイクルプラザは先送りだとしているし、まだその必要性がないと、いろいろな人がいろいろな思い入れをもっている。

委員：

インターネットなどは配線の関係で固定して動かせないが、家具展示は学習機などその時季に集中して数多く展示できれば良いと思い、その展示する時季に多目的ルームと部屋替えが出来るのであればなおさら良いかなと思っていますが。

事務局：

多目的ルームは、調理用のガスや水回りの配管がありますので、一時的でも部屋替えは難しいと思う。

座長：

もう一度持ち帰って検討したいので次回に結論でよろしいですか。

委員：

基本コンセプトのキーワードを一言で言うとどういうことですか。

事務局：

循環型社会の形成に向けた環境学習等の拠点施設として位置付けられると思う。

座長：

シルバーに関することを事前にシルバー人材センターと話し合うことは出来ないのですか。

事務局：

市民懇談会は応募された市民の方々の会ですので、この中で話し合うことは無理かと思います。調整してみたいと思いますが入ることが決まった段階でないと出来ないかもしれない。

座長：

他になれば、本日はこれで終わりたいと思います。ご苦労様でした。